

## 支部長就任挨拶

清流会東京支部の皆さま、このたび松井さんの後任として支部長を務めることになりました33回の中塚伸幸です。

東京支部は松井支部長、井上副支部長のもとで過去17年間にわたり、活動の幅を広げ、飛躍的に発展してきました。同窓生の集いの参加者は最大300名超を数え、年齢や活躍分野を超えて清流会の輪はより太く、より大きなものになりました。また、卒業生著書の寄贈、すなわち清流文庫の創設をはじめ、母校への貢献においても特筆すべき成果がありました。

私自身、支部の活動を通じて多くの素晴らしい先輩・後輩の皆さま(もちろん同級生も)とつながりを持つことができ、心から有難く思うとともに、東高卒業生であることを一層誇りに思うようになりました。今般、大役を引き継がせていただくこととなりましたが、支部のネットワークをさらに充実したものとし、私たちが東高 OB・OG であることの喜びを味わい、それを在校生の皆さんとも共有できるような、そんな同窓会活動を展開していければと思っております。平井副支部長はじめ役員や年次幹事の皆さん、また大庫会長ほか加古川本部の方々、そしてなにより東京支部の皆さま方のお力添えをいただきながら、松井さん井上さんが築かれた礎をまもり、発展させていけるよう、精一杯努めてまいります。

今年は残念ながらコロナの影響で同窓生の集いは見送りとなりました。世の中もコロナ禍で大変厳しい状況にあります。しかし「光はつねに東より」。このフレーズが私たちを前向きな気持ちにさせてくれます。ご苦勞多いことと存じますが皆さまのご健勝を心より祈念いたしますとともに、来年の同窓生の集いでお会いできることを楽しみにしております。清流会東京支部をますます盛り上げていきましょう。これから、どうぞよろしくお願いたします。

令和2年8月17日

清流会東京支部 第7代支部長 中塚伸幸